



きらくなたより

発行者 鈴木 忠好
発行月 R4年5月.
編集者 坂口 洋一
No. 59

えつ!!まさか「ひ

緑ヶ丘公園にカモシカ?

5月2日、午前11時頃

わが会員の、信子さん妙子さんのお散歩コンビが、緑ヶ丘公園の陸橋に近づくゆるい坂を登っていました。

ちょうど山つつじが満開。よく見ようと山際に近づくと、何か動くものに気が付きました。送電線の鉄塔

のすぐ下です。え? 犬?

犬にしては優しい目をしていますし体も大きい。ヤギかな?

二人は不思議に思い、じっと田を凝らしました。

向こうの動物もまたこちらを見ています。妙子さん急いでスマートの力メラを向けますがまだ逃げません。優しい黒い目でじっと二人を見つめていたそうです。左右の耳の間に短い角も見えます。

もしかしてカモシカじゃない?

こんな街の中の公園にいるはずもないカモシカが居たのです。

五分ほどして、カモシカはゆっくりと展望台の方に登っていき木陰に消えていったそうです。牛のようなお尻をしていたと妙子さんの言。きっと、カモシカも珍しい人間がいるなと思って見ていたのかも。後日知ったのですが、この日より何日か前、西田町でも目撃されたそうですね。同じ個体かも知れません。車にでも轢かれないと云うですね。



それでも、まさかと思う方比べてください。南会津 前沢曲家集落で撮られたカモシカです。



顔面アップ
鉄塔の左下
(佐藤妙子さん撮影)



早いもので、1年の半分に近づこうとしています。

藤の花が終わり、野山には白い花が目立ち、緑が美しく一年間で最も良い季節です。

連日、コロナ感染者が何人増えたの減ったのと報道されていますが、慣れのせいか気にならなくなってきたような気がします。

アホな指導者のせいで、今頃になつて大騒ぎしている国もあります。

ヨモギの葉をいぶし、塩水と

しようがと・・でコロナと立ち向かうとか。国民が可哀そうですが。ヨモギの葉をいぶし、塩水と

ロシアでも隣の指導者に輪をかけたバカが、一向に戦争をやめよとしていません。戦争をいくらかでも経験している我々高齢者だからこそ、その悲惨さを身近に感じることができます。

一日も早い平和な日々を願わずにはいられません。

今年もさつま芋を!

22日、小雨降る中、子供たちの笑顔を思い浮かべ、さつま芋の苗を植えました。

きらくな煙では、じゃが芋の花が咲き始め、ダリヤの芽も顔を出し日々変化しています。会員達の精進が実を結んでいます。

